

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	大浜地区歴史遺産活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	教育部 文化財課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり - 1 - (1)	
事業内容	本市の有する特異な歴史、文化を来訪者に紹介することにより、さらなる観光の推進を図る。大浜地区は、14～15世紀の集落跡と考えられる国指定史跡フルスト原遺跡をはじめ、宇根井戸や大底御嶽など多様な歴史遺産が存する地域である。これらの歴史遺産を連結させる紐帯として遺跡の隣接地に駐車場を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	16,441	26,748	-	32,840	-
		(b)予算現額	16,453	26,748	-	2160	-
		(c)増減額(b-a)	12	0	-	▲ 30,680	-
		(d)繰越額	-	-	25,484	-	2,160
	A. 計(b+d)		16,453	26,748	25,484	2,160	2,160
	B. 執行済額		16,452	513	24,863	0	2,160
	うち交付金充当額		13,161	409	19,890	0	1,728
	次年度繰越額		0	25,484	-	2,160	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	1.9%	97.6%	0%	100.00%
予算の状況の説明		委託内容の調整に時間を要したため、当初予定していた工事の実施等については次年度以降へ見送ることとするとともに、基本設計及び実施設計の業務委託を平成28年度に繰越すこととなったが、繰越事業にかかる業務は28年度中に完了することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	整備に関する基本設計及び実施設計	目 標	(1件)	()	()	()	
		実 績	1件				
達成状況説明	予定している敷地内の整備に関する基本設計及び実施設計を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	整備に関する基本設計及び実施設計	目 標	()	(1件)	()	()	()
		実 績		1件			
	進捗状況説明	予定している敷地内の整備に関する基本設計及び実施設計を作成することができ、後年度の取り組みに繋げることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	石垣島空港の開港後、近年のクルーズ船の寄港もあり、国外からの来訪者も増加している。とくにレンタカーによる島内観光は盛んとなったきており、フルスト原遺跡などがより活用されるための受入環境整備の側面を鑑みると、駐車場や利便施設の整備等、大浜地区歴史遺産広場の整備の必要性は大きくなってきている。	隣接する国指定史跡フルスト原遺跡の整備とタイアップし、より効果的な活用を図っていききたい。また、広場にはトイレ及び東屋の設置を検討したい。
今後の取り組み方針		
次年度以降、構造物(トイレ・東屋)の設計、整地工事及び歴史遺産広場の整備を行っていききたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		2,160	2,160	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		1,728	432	
石垣市 2,160千円 委託料 2,160千円 株式会社末吉栄三計画研究室 代表取締役 末吉 栄三 大浜地区歴史遺産広場設計 (基本設計及び実施設計)				
資金の流 れ、点 検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 史跡フルスト原遺跡整備の完成という将来を見据え、かつ契約の性質上、末吉氏がこれまで培ってきた知識等は何物にも代えがたく、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 不用額はないことから、予算規模は適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途は、事業の実施のみに充当され、目的も達成され、必要なものであった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	石垣市民会館設備改修事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ウ			
担当部課名	企画部 観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施 (予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
					- 1 - (1)		
事業内容	島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による多くの公演の誘致につなげるため会館設備を改修し、良好な環境を提供しやすい施設として整備する。そのことにより、それら公演及びアーティストのファンをイベントツアーで誘客し、島の魅力をアピールすることによりピーターとしての新たな観光客の誘致活動を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	24,469	-	182,329	-	
		(b)予算現額	47,149	-	205,976	-	
		(c)増減額(b-a)	22,680	-	23,647	-	
		(d)繰越額	0	4,469	0	40,738	
		A. 計(b+d)	47,149	4,469	205,976	40,738	
	B. 執行済額		37,465	4,320	165,238	22,437	
	うち交付金充当額		29,980	3,456	132,191	17,949	
	次年度繰越額		4,469	-	40,738	-	
	執行率(%) (B/A)		79.5%	96.7%	80.2%	55.1%	
予算の状況の説明		空調設備改修については事業計画通りに実施できた。 音響設備改修については、資材の入手困難等により不測の日数を要したことから繰越となった。 執行残は、競争入札による残額等である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	28年度
	石垣市民会館空調設備改修 大中ホール用ワイヤレスマイクシステム購入	目 標	(改修、購入)	()	()	()	()
		実 績	実施				
	音響設備改修設計業務委託	目 標	(業務委託)	()	()	()	()
		実 績	実施				
達成 状況 説明	事業計画通りに実施できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	室温管理システムの構築	目 標	()	(構築)	()	()	()
		実 績		実施			
	ワイヤレスマイクシステムの多チャンネル化	目 標	()	(多チャンネル化)	()	()	()
		実 績		実施			
	音響設備改修設計の完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	公演事業の誘致に際し、演じ易く鑑賞し易い環境の整備	目 標	()	(整備)	()	()	()
		実 績		整備がなされた			
	進捗 状況 説明	事業計画通りに実施できた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化) 音響改修である大中ホールワイヤレスシステム備品購入について、帯域許可の関連で国内で受注が進み、メーカー対応に遅延がでるなど危惧されており、資材等の入手に際して時間を要したが、その中において、早期に整備できたことはよかった。	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点) 設備機器製品の更新状況等、メーカー発信情報をいち早く掴むのが重要と考える。
	今後の取り組み方針 年次的に改修工事を行い、演者・観客共に喜ばれる環境を整備していく。	

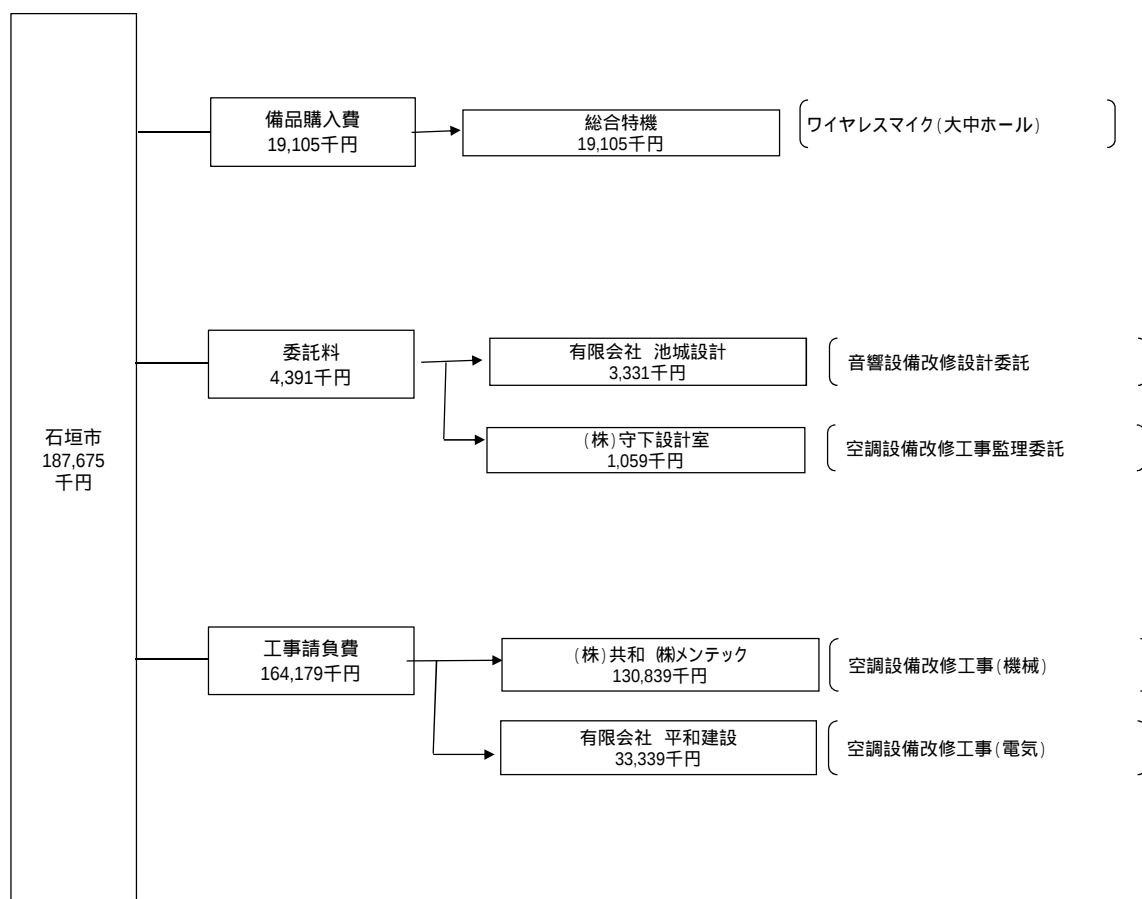
今後の取り組み方針

年次的に改修工事を行い、演者・観客共に喜ばれる環境を整備していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額		交付対象 外経費
		市町村 負担金		
187,675	187,675	150,140	37,535	



資金の流れ、費目、 使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算に関しては、調整に時間を要したため、執行残が発生してしまった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途については事業目的の観点から必要な物なのか等について額の選定時において支出等に関する書類により確認、適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - (ウ)	
担当部課名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					- 1 - (1)		
事業内容	観光客の受入れ強化を図るため、観光施設の整備、改修を行う。多くの観光客が観光施設等を利用するが施設の経年劣化が激しいため早急に改修整備し、併せて施設緑化も含めて魅力ある観光施設整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	45,500	40,500	-	12,000	-
		(b)予算現額	5,500	40,500	-	12,000	-
		(c)増減額(b-a)	▲ 40,000	0	-	0	-
		(d)繰越額	-	-	21,396	-	8,566
	A. 計(b+d)		5,500	40,500	21,396	12,000	8,566
	B. 執行済額		5,322	13,756	19,596	3,434	8,014
	うち交付金充当額		4,257	11,004	15,677	2,747	6,411
	次年度繰越額		0	21,396	-	8,566	-
	執行率(%) (B/A)		96.8%	34.0%	91.6%	28.6%	93.6%
予算の状況の説明		玉取崎周辺は、国立公園に指定されていることから、測量及び設計業務の実施にあたり環境省との協議の必要性があったことから、調整に不測の時間を要し繰り越すこととなった。 執行残は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	玉取崎周辺施設実施設計の検討		目 標	(調査測量実施設計)			()
			実 績	調査測量実施設計			
達成状況説明	玉取崎展望台を整備するため、調査測量実施設計業務を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
			目 標	()	(設計完了)	()	()
	H29年4月供用開始に向けた実施設計書の完了		実 績	設計完了			
	進捗状況説明	平成28年7月に設計完了。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	石垣市観光施設・観光地再整備計画に基づき、重点観光施設・観光地を次の3つを設定した。 「米原キャンプ場」「底地海水浴場」「玉取崎展望台」 この3つの観光施設・観光地について再整備を行う。 この3つの観光施設・観光地は国立公園に指定される。 玉取崎展望台再整備の際も自然保護法に基づき、環境省との調整が必要である。	3つの観光施設・観光地は国立公園に指定されているため、自然保護法に基づき、環境省との調整が必要である。 自然保護法による樹木の伐採の制限等により、設計や工事の内容が制限されるため、自然を活かした設計にする。 また、環境省との調整に想定外の日数を要するため、環境省との調整日数を考慮する。
今後の取り組み方針		
石垣市観光施設・観光地再整備計画に基づき、平成27年6月に一部施設の再整備を行った米原キャンプ場を含め、「玉取崎展望台」「底地海水浴場」「米原キャンプ場」の3つの観光施設・観光地について再整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
		総事業費		交付対象事業費	交付対象外経費
		交付金充当額		市町村負担金	
		11,448		11,448	0
		9,158		2,290	
石垣市 11,448千円 委託費 11,448千円 (有)八島企画 11,448千円 玉取崎展望台調査測量設計業務					
資金の流点、費目、評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			○ 委託業者の選定は、指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○ 予算規模も妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途は、事業目的達成の観点から必要なのか等について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 亜熱帯都市公園整備促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - (ウ)		
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	石垣市の街区公園は、拝所や良好な緑地を有し、独特の景観を残している。また、地域文化の象徴でもあり、重要な観光資源の一つでもある。その街区公園の利活用を目的として、石垣特有の街区公園整備を図る。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	20,000	78,000	-		
		(b)予算現額	15,000	78,000	-		
		(c)増減額(b-a)	▲ 5,000	0	-		
		(d)繰越額	-	-	77,714		
	A. 計(b+d)		15,000	78,000	77,714		
	B. 執行済額		14,958	286	72,296		
	うち交付金充当額		11,966	228	57,838		
	次年度繰越額		0	77,714	-		
	執行率(%) (B/A)		99.7%	0.4%	93.0%		
予算の状況の説明		用地の取得にあたって、諸調整に遅れが生じたことから繰越となったが、用地取得費について、不動産鑑定の結果により、当初予算と最終予算とに差異が生じたが、事業執行の観点からは事業計画どおりに執行が行われた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	用地取得の交渉	目 標	(用地取得の交渉)				()
		実 績	用地取得の交渉				
達成状況説明	平成27年度事業であんぐん公園の公園用地3筆を取得。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	全体計画に対する用地取得率16.62%(取得面積1,545㎡)	目 標	()	(16.62%)	()	()	()
		実 績		23.73%			
	進捗状況説明	用地取得について当初16.62%の用地を取得予定であったが、鑑定の結果により計画の前倒しが可能となったため、平成28年度に取得予定であった7.11%の用地を取得したので実績が目標を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 石垣市街地内においては公園が足りておらず早急に街区公園の整備が必要であるため、街区公園3公園について平成25年度事業で石垣市亜熱帯都市公園整備構想を策定し、その整備内容を実現するために継続して事業を推進する必要がある。 - 街区公園3公園のひとつであるあんぐん公園については、公園整備を推進するにあたり、公園予定地の用地を購入する必要があったため、平成27年度事業において用地の一部を購入した。残りの用地を購入した上で、公園整備の推進を図っていく必要がある。 - うぶ公園については、筆界未定の用地があるため、今後、筆界を確定させた上で、必要な用地を購入し、公園整備を推進する必要がある。 - 宮島公園については、用地購入の必要がないため、地域住民をはじめとした公園利用者の意向を十分に反映させた形で公園整備を推進していく。	- 街区公園3公園について、石垣市亜熱帯都市公園整備構想の整備内容を、それぞれの公園の主たる利用者である地域住民の意向を十分に反映させた形で実現させるために、地域住民との意思疎通を密にする必要がある。 - 公園整備に必要な諸事務手続き(都市計画変更、事業認可手続き、その他)を適切な時期に行い、公園整備のスケジュールに影響がないように注意する必要がある。
今後の取り組み方針		
- あんぐん公園については、公園予定用地を全て購入した上で、石垣市亜熱帯都市公園整備構想による整備内容を、地域住民をはじめとした公園利用者の意向を十分に反映させた形で実現させ、公園整備を推進していく。 - うぶ公園については、都市計画変更に係る事務手続きや事業認可手続き、筆界未定の解消をした上で、公園予定地となる用地を購入し、公園整備を推進していく。 - 宮島公園については、石垣市亜熱帯都市公園整備構想による整備内容を、地域住民をはじめとした公園利用者の意向を十分に反映させた形で実現させ、公園整備を推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>72,582</td><td>72,582</td><td>58,066</td><td>14,516</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	72,582	72,582	58,066	14,516	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
72,582	72,582	58,066	14,516	0										
<pre> graph LR A[石垣市 72,582千円] --> B[役務費 286千円] A --> C[公有財産購入費 69,976千円 物件移転補償費 2,320千円] B --> D["(有)平良不動産鑑定事務所 286千円"] C --> E["地権者 A 公有財産購入費 50,213千円 物件移転補償費 326千円"] C --> F["地権者 B 公有財産購入費 19,763千円 物件移転補償費 1,994千円"] D --- G["(有)平良不動産鑑定事務所 286千円"] E --- G F --- G subgraph G [不動産鑑定評価業務手数料] D E F end </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 不動産鑑定業務の業者選定は金額が少額であったため、3業者の見積比較による随意契約により実施しており、妥当であったと考えている。 - 予算規模については、適正な規模であったと考えている。 - 費目・使途については、公園整備のための用地取得に係るものであるので適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	VERAアクセス道路安全安心推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - (ウ)	
担当部課名	農林水産部　むらづくり課	事業実施(予定)年度	平成26年～27年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					- 1 - (1)		
事業内容	本市の観光スポットである「VERA 石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路の整備を実施することにより、観光地としての安全・安心・快適を確保し、観光リゾート地の形成を目指す。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,500	24,000	-		
		(b)予算現額	4,860	25,000	-		
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,640	1,000	-		
		(d)繰越額	-	-	11,731		
		A. 計(b+d)	4,860	25,000	11,731		
	B. 執行済額		4,860	13,269	11,727		
	うち交付金充当額		3,888	10,615	9,382		
	次年度繰越額		0	11,731	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	53.1%	100.0%		
予算の状況の説明		1,000千円の増額の要因は、長雨による多量の雨水の排水処理及び既設埋設管(農業用水管、上水道管)スラストの土留め(補強)工事である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	工事実施	目 標	(工事実施)	()	()	()	
		実 績	工事実施				
達成状況説明	当該事業によって、VERAアクセス道路の排水施設整備が完了し、本市の観光スポットである「VERA」を訪れる観光客が、安全・快適にアクセスできるようになった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	工事完了	目 標	()	(100%)	()	()	()
		実 績		100%			
	進捗状況説明	VERAアクセス道路横断管渠工事の完了。本市の観光スポットである「VERA」を訪れる観光客が、安全・快適にアクセスできるようになり、観光地としての魅力度、満足度のアップ、誘客促進に繋げ、観光産業の促進を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該事業実施により、大雨時の排水を適切に処理できるようになった。 本市の観光スポットである「VERA」を訪れる観光客が、安全・快適なアクセスが継続できる様、維持管理を行う。	台風、大雨後及び定期的な巡回により、施設の適切な維持管理を行う。
今後の取り組み方針		
観光地として、安全・安心・快適を確保するため、定期的な巡回を実施し、施設の適切な維持管理を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
石垣市 24,996千円 工事費 24,996千円 有限会社 阿香建設 24,996千円														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>24,996</td><td>24,996</td><td>19,997</td><td>4,999</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	24,996	24,996	19,997	4,999	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
24,996	24,996	19,997	4,999	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○ 設計数量変更により増額はあったが、適正な規模であったと考える。 ○ 費目・使途については、VERAアクセス道路横断管渠整備のみに使用しているので妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 石垣市中央運動公園リニューアル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (1) - イ		
担当部課名	建設部 都市建設課		事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)	
事業内容	市民のスポーツ振興、プロ・アマチュア等のキャンプ誘致を図るため、核となる施設「石垣市中央運動公園」のリニューアルを図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,500	-			
		(b)予算現額	7,500	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	7,500			
		A. 計(b+d)	7,500	7,500			
	B. 執行済額		0	7,020			
	うち交付金充当額		0	5,616			
	次年度繰越額		7,500	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	93.6%			
予算の状況の説明		整備内容について、各スポーツ協会等との調整に不測の日数を要したことから業務委託の締結が12月となり、繰越となった。 執行残は、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度
	石垣市中央運動公園の再整備構想の策定(運動施設の改築や未利用地の有効活用に向けた基本方針、基本計画)	目 標	(再整備構想の策定)	()	()	()	
		実 績	再整備構想の策定				
達成状況説明	石垣市中央運動公園の再整備基本構想を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	都市公園事業の導入に向けた基礎資料の整理(基本方針、基本計画策定)	目 標	()	(基礎資料の整理)	()	()	()
		実 績		基礎資料の整理			
	進捗状況説明	石垣市中央運動公園再整備基本構想を策定するにあたり、策定委員会等の開催や市民及び体育関係者へのアンケート等により再整備に向けた基礎資料の整理を行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○市民のスポーツ振興やプロ・アマチュア等のキャンプ誘致を図るため、石垣市中央運動公園の老朽化した運動施設の改築や未利用地の有効活用を推進すべく事業を実施した。 ○平成27年度事業では、策定委員会等の開催や市民及び体育関係者へのアンケート等を行い、その結果を再整備に向けた基礎資料として整理し、石垣市中央運動公園再整備基本構想にまとめた。構想策定に際し、パブリックコメントを実施したが、当初はパブリックコメントの実施は想定していなかったため、履行期間を延長することとなった。 ○今後、運動公園全体の基本計画を策定する際には、施設利用者等からの意見を徴収し、計画に反映させていく必要がある。	○当初計画より履行期間が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては必要な段取りを当初からよく検討し、余裕を持った事業の実施を行いたい。
今後の取り組み方針		
○市民のスポーツ振興やプロ・アマチュア等のキャンプ誘致を図るため、石垣市中央運動公園の運動施設のリニューアルを推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,020</td><td>7,020</td><td>5,616</td><td>1,404</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 石垣市 7,020千円 委託料 7,020千円 (株)国建 7,020千円 石垣市中央運動公園再整備構想 作成業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	7,020	7,020	5,616	1,404	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
7,020	7,020	5,616	1,404	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、事業推進に係るものであるので適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	人工ビーチ付帯施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	石垣港新港地区において整備を進めている人工ビーチの供用に向け、利用者の利便性の向上のため、ビーチ利用者が遊泳後に使用するシャワー施設・脱衣所・ロッカールーム等を整備する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	27年度	27年度(繰越)		
		(a)当初予算額	5,000	100,000	-		
		(b)予算現額	2,994	110,000	-		
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,006	10,000	-		
		(d)繰越額	-	-	25,000		
	A. 計(b+d)		2,994	110,000	25,000		
	B. 執行済額		2,994	84,976	25,000		
	うち交付金充当額		2,395	67,980	20,000		
	次年度繰越額		0	25,000	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	77.3%	100.0%		
予算の状況の説明		労務者の手配調整に不測の日数を要したことなどから、工期延伸を行い、平成28年5月に完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	管理棟、男子トイレ・シャワー・ロッカー室、多目的トイレ・女子トイレ・シャワー・ロッカー室を備えた施設(鉄筋コンクリート造1階平屋、床面積249㎡)の建築工事の実施	目 標	(建築工事の実施)	()	()	()	
		実 績	建築工事の実施				
達成状況説明	労務者の手配調整に不測の日数を要したことなどから、繰越をしたが、平成28年5月に完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	ビーチ利用者及び観光利用に向けて、利便施設の整備完了。	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	進捗状況説明	平成28年5月に整備が完了し、7月に人工ビーチの一部供用開始を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新港地区にて整備中の人工ビーチは市民からの期待も大きく、また観光客へのアピールポイントとしても非常に関心が高い案件である。 ゆえにその設計・整備には内装・外観含め、慎重に協議を重ねる必要があり、当初計画よりも整備に遅れが生じた。	当初計画より整備が遅れてしまったが、事業実施の際には関係者との事前協議を重ね意思疎通を図ることで、契約期間内に工事の完了が出来た。
今後の取り組み方針		
平成28年7月の人工ビーチ一時供用開始に合わせて当施設も供用開始し、観光客の利用促進を図る。 また、保安要員として当課の職員を配置することにより、当該施設の管理ひいては人工ビーチの管理における課題点の発見、解消に努め、今後の整備の参考とする。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		109,976	109,976	87,980
				市町村負担金
				21,996
				交付対象外経費
				0
石垣市 109,976千円 委託費 1,725千円 野原建築設計事務所 1,725千円 石垣港新港地区人工海浜シャワー室・トイレ等新築工事 監理業務委託 工事請負費 108,251千円 (株)大進建設 79,684千円 (有)つかさ産業 13,114千円 (株)大進建設 15,453千円 石垣港新港地区人工海浜シャワー室・トイレ等新築工事 石垣港新港地区人工海浜シャワー室・トイレ等新築工事 (電気) 石垣港新港地区人工海浜シャワー室・トイレ等新築工事 (機械)				
資金の 使途の 流れ、 検 査 評 価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○ 予算規模について不用額は24千円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○ 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 -	石垣市資源循環アイランド推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (3) - イ	
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	グリーンエネルギーの推進		
					- 10 - (1)		
事業内容	『環境と共生したエコアイランド』の実現のため、廃棄物系バイオマスを資源として利用し、島内循環システムづくりを行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	27年度(繰越)	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,522	12,500	20,938	-	
		(b)予算現額	9,449	21,972	11,248	-	
		(c)増減額(b-a)	▲ 73	9,472	▲ 9,690	-	
		(d)繰越額	-	-	4,000	4,000	
	A. 計(b+d)		9,449	21,972	15,248	4,000	
	B. 執行済額		8,355	20,279	10,663	2,160	
	うち交付金充当額		6,684	16,223	8,530	1,728	
	次年度繰越額		-	-	4,000	-	
	執行率(%) (B/A)		88.4%	92.3%	70%	54%	
予算の状況の説明		減額については、メタン発酵後の消化液肥の成分分析調査に不測の日数を要したことにより、肥料登録及びその後の作物の生育調査委託が実施できなかったことによる減である。また、繰越額については、液肥散布機について受注生産のため、納期が3月31日に間に合わないことから繰越したものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	無加温等による性能調査	目 標	(成分分析調査)	()	()	()	
		実 績	成分分析調査報告書				
	消化液肥散布による作物の生育調査	目 標	(生育調査)	()	()	()	
		実 績	未実施				
	生ごみ収集方法の確立のために先進地視察	目 標	(先進地視察)	()	()	()	
		実 績	実施				
	達成状況説明	無加温によるメタン発酵性能調査について、温暖な石垣島でも昨年、最低気温が8 の寒波(石垣島気象台発表)があったが、安定的に発酵は行われていた。また、原料ごとによる成分分析を行い報告書を取りまとめた。消化液肥による生育調査については、テストプラントの安定的な稼働までに不測の日数を要したことから試験実施までには至らなかったが、メタン発酵技術や運転管理のノウハウなどの技術を蓄積することができた。生ごみ収集方法の確立及び、液肥の実践の利用を目的にJA、プラント管理会社、市内農家などと先進地である福岡県大木町への視察を実施し、石垣島にあった収集・使用方法について検討することができた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度
テストプラントの性能調査を行なうことで、より安価な実機製作に向けた報告書を作成		目 標	()	(作成)	()	()	()
		実 績		作成			
循環型農業確立へ向けた報告書を作成		目 標	()	(作成)	()	()	()
		実 績		未作成			
本市に最適な生ごみ収集方法の基礎資料の把握		目 標	()	(把握)	()	()	()
		実 績		把握			
進捗状況説明		・プラント性能調査のために、無加温による成分分析を行い、報告書を作成した。 ・循環型農業確立へ向けた報告書は、肥料登録及び作物の生育調査が出来なかったため、作成することができなかった。 ・生ごみ収集方法確立のための研究を行っている長崎大学と協働で、最適な生ごみ収集方法の基礎資料を把握するため本市の状況と課題を分析し、課題解決に向けた取組内容をまとめた報告書を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・生ゴミ等原料の成分にバラツキがあるものを活用したメタン発酵は、単年の分析結果による設計等は困難を要す。 ・メタン発酵の専門家等が不在かつ離島の本市の現況においては、プラントの安定稼働等に時間を要する。また、沖縄県の基幹作物であるさとうきびは、全国的に液肥利用システムが確率していないため生育試験に期間を要す。 ・原料である生ごみ所管課と今後の収集方法の確立へ向けた調整ができた。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・分析値を積み重ね年間の通常運転とし、本市にあった実機プラントの導入を行なう。 ・産学官の連携を一層強化するため、全国規模のバイオマス等の協議会への積極的な参加を通して、本事業のPRを積極的に行い、専門的な見地からのメタン発酵消化液の有用性の調査を行なう。 ・循環型社会の構築へ向けて、庁内外の機関や市民と連携をめざす。
	今後の取り組み方針 ・無加温によるメタン発酵テストプラントの成分分析を行い、データの蓄積を行なう。 ・メタン発酵テストプラントを稼働させながら、実機で想定される事象等を解決しながら行なう。	

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
12,823	12,823	10,258	2,565	0

```

    graph LR
      A[石垣市  
12,823千円] --> B[旅費  
854千円]
      A --> C[委託費  
9,808千円]
      A --> D[備品購入費  
4,000千円]
      B --> B1[普通旅費(6人)  
518千円]
      B --> B2[特別旅費(県外4人)  
335千円]
      C --> C1["(一社)地域環境資源センター  
2,685千円"]
      C --> C2["国立大学法人 長崎大学  
1,000千円"]
      C --> C3["水質管理サービス 有限会社  
3,638千円"]
      C --> C4["(一財)沖縄県環境科学センター  
2,484千円"]
      D --> D1["(株)くみき八重山営業所  
2,160千円"]
      B1 --- B1_desc["バイオマス事業に係る情報収集(東京・福岡)"]
      B2 --- B2_desc["バイオマス事業等に係る情報収集(福岡)"]
      C1 --- C1_desc["メタン発酵テストプラントを用いた実証試験に関する業務委託"]
      C2 --- C2_desc["生ごみ分別・回収方法委託業務"]
      C3 --- C3_desc["石垣市メタン発酵テストプラント運転管理委託業務"]
      C4 --- C4_desc["メタン発酵テストプラントにおける発酵液等の成分分析委託業務"]
      D1 --- D1_desc["メタン発酵消化液肥を散布するためのスリッスプレッダー"]
  
```

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託費4件中3件は随意契約だが、事業内容が各専門知識を熟知し、技術者が確保されており、性質及び目的が競争入札に適しない事業であるため妥当であったと考えている。また成分分析については、指名競争入札を実施し妥当であったと考えている。 ○ 備品購入費は、指名競争入札を実施し妥当であったと考えている。 ○ 費目等について事業達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した結果適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成 2 7 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	ものづくり・マーケティング総合支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (9) - イ	
担当部課名	企画部 商工振興課		事業実施(予定)年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
						- 1 - (7)	
事業内容	製造業及び特産品の振興を図るとことを目的に、特産品プロモーション、特産品開発支援、特産品販路拡大 / 開拓支援、特産品ブランド化推進、人材育成、原材料確保支援などを総合的かつ網羅的に展開し全体としての効果の発現を目指す。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度(繰越)
		(b)予算現額	9,677	9,409	21,986	7,560	-
		(c)増減額(b-a)	▲ 4,057	0	▲ 996	20,692	-
		(d)繰越額	-	-	-	-	2,992
		A. 計(b+d)	5,620	9,409	20,990	28,252	2,992
	B. 執行済額		5,597	5,164	20,300	25,260	2,992
	うち交付金充当額		4,477	4,131	16,239	20,207	2,394
	次年度繰越額		0	0	0	2,992	-
	執行率(%) (B/A)		99.6%	54.9%	96.7%	89.4%	100.0%
	予算の状況の説明		平成27年度ものづくり・マーケティング総合支援事業は、特産品加工施設の実証稼働場所を確保するために増額を行ったが、場所の選定に不測の日時を要し、実際の稼働期間が当初予定より縮小したことから、執行残が生じた。また、坏土製造事業者へ補助支援を行うにあたり、導入機械の機種、納期の調整に時間を要し、繰越での実施となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	(1)販路拡大・マーケティング特産品プロモーション実施(国内外)	目標	(富山物産展開催)	(実施)	(2回実施)	()	
		実績	富山物産展開催	台北、金沢物産展開催	台湾、北陸、香港開催		
	(2)開発商品の製造先確保、商品化、販路獲得	目標	()	(試作品開発)	(3アイテム開発)	()	
		実績		試作品開発	1アイテム開発		
	(3)特産品加工施設の実証稼働	目標	()	(方針・計画策定)	(稼働開始)	()	
		実績		方針・計画策定	施設の確保、試験稼働		
	(4)Made In石垣の工芸品の海外販路開拓	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			台湾文博会出展		
	(5)ものづくり産業人材育成(織物・やきもの)	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			八重山ミンサー技術者育成講習会の実施		
	(6)やきもの振興のための坏土製造事業者への支援	目標	()	()	(補助実施)	()	
		実績			製造機器の導入補助実施		
	(7)地域団体商標登録支援	目標	()	()	(調査実施)	()	
		実績			調査実施		
	(8)知財リスク管理支援セミナー開催	目標	()	()	(3アイテム登録)	()	
		実績			未実施		
	(9)地域版HACCP制度導入へ向けた勉強会の実施	目標	()	()	(勉強会開催)	()	
		実績			未実施		
達成状況説明	国内外でのプロモーション実施は、金沢(北陸)で12月4日～6日に実施。ローカル新聞社・テレビでの物産催事の事前告知を行った。「石垣島美しい味まさ おいしゅうりん金沢」と銘打った5日、6日の物産展では、エイサー演舞、ミス八重山によるPR、石垣島出身アーティストによる音楽ライブ、20種類のお土産販売、八重山そば270食の実演販売を行うことができた。台湾においては台湾文博会(デザイナーズウィーク)に出展(10月2日～7日)して石垣島クラフト・加工食品のプロモーションを実施した。また、新特産品開発事業では、黒麹を活用して、地元食材であるマグロ、とうがらし、パインアップル等の調味料の中から「黒麹万能調味料」に絞り込んで、製造販売を想定した事業者向け説明会を開催できた。八重山上布の技術者育成、やきもの産業には地域産業の振興の推進基盤となる機械の導入支援を達成できた。一方で、知財リスク管理支援セミナーや地域版HACCP制度導入へ向けた勉強会は、未達成となったが、引き続き、取り組みについては図っていきたい。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	(1)販路拡大・マーケティング 特産品プロモーション実施(国内外) 金沢…物産展での売り上げ200万円 台湾…物産展での売り上げ50万円	目 標	()	200万 /50万			()
		実 績		140万 /35万			
	(2)石垣市プロデュース特産品(3品目)売 り上げ30万円以上	目 標	()	30万			()
		実 績		0万			
	(3)石垣島産パインアップル使用の加 工品(2アイテム)売り上げ400万円以 上(6ヶ月間)	目 標	()	400万			()
		実 績		110万			
	(4)商談会における商談成約件数3件	目 標	()	3 件			()
		実 績		0 件			
	(5)作品展示会の開催(各1回)	目 標	()	1 回			()
		実 績		1回			
	(6)石垣島産坯土の生産高対前年比 1,100kg増	目 標	()	1,100kg			()
		実 績		0kg			
	(7)地域団体商標登録支援(2アイテム) (食品1、非食品1)	目 標	()	2アイテム			()
		実 績		0アイテム			
	(8)知財リスク管理支援セミナー参加による 民間事業者による商標登録数	目 標	()	3 件			()
		実 績		0 件			
	(9)地域版HACCP制度導入へ向けた勉強 会への参加事業者数	目 標	()	10事業者			()
		実 績		0 事業者			
	進 捗 状 況 説 明	特産品プロモーション事業では売り上げ目標の7割程度の成果となった。石垣市プロデュース特産品としての発酵食品は、レシピ開発を行うことが出来たが、商品化は翌年度以降の事業にて実施することとなった。パインアップルを主な材料として、その一次加工に取り組む特産品加工施設については、場所やリース機器の確保等に不測の日数を要した結果、売り上げ目標には達しなかった。商談会においては、引き合いはあったが、最終的な成約には繋がらなかった。作品展示会は、当初予定通り開催することが出来た。やきものの原材料となる坯土製造機械を窯業振興を図るため導入して、生産高増を成果目標にしたが、機種、納期の調整等に時間を要し、繰越してH28年6月に真空式土練機およびフィルタープレスの補助導入を達成できた。当初計画した、地域団体商標登録支援、知財リスク管理支援セミナーおよび地域版HACCP制度導入へ向けた勉強会の実施は、H27年度は、事業設計を進める段階において、関係機関との調整に時間を要するなどの理由により、見送る結果となった。					

取 組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ものづくり・マーケティング総合支援事業は、製造業及び特産品の振興を図ることを目的に各種事業・業務に取り組み、総合的かつ網羅的に展開することで、全体としての効果の発現を目指している。特産品加工施設は、施設の確保に時間を要したため、試験稼働のみ行った。海外向けには、新たに文化産業(デザイン)に着目した本市物産のアピールをデザイン産業に関心の高い台湾市場向けにアプローチすることで石垣島イメージを訴求することができた。また、窯業振興は、やきもの祭り開催など、窯業事業者が微増傾向な状況がある。本市が所有するやきもの材料となる土、そしてそれを加工した坯土の有効活用を引き続き検討、検証することが課題となる。セミナーや勉強会は、事業全体の設計を行う段階において、平成27年度の実施は見送ることとなった。	本市物産を海外展開するうえで、日本製品の中のひとつとして販売するには、生産量、商品ブランドが他の日本製品と比べると販売力は弱い。他の日本製品との差別化を図り、付加価値を高めるためには、安全性、味、品質の向上や維持は踏まえたうえで、デザイン力による消費者への訴求が効果的であると検討した。今後の展開においても、石垣島らしさを表現する見せ方、伝え方を行政としても牽引することで、知財リスク管理、地域版HACCP制度の導入等の必要性についても市内事業者へ示していくことに取り組みたい。また、島産発酵食品の可能性についても機運を高めていきたい。
今後の取り組み方針		
○販路拡大・マーケティングは、新石垣空港と結ばれる台湾、香港を対象に取り組みたい。 ○本市の特徴的な発酵調味料を開発して、その製造販売を行う民間事業者を募り、発酵食品の島として今後の特産品振興に寄与するよう継続して取り組む。 ○特産品加工品施設の試験的稼働においては、加工するパインビュレやカットパインの販路開拓を推進して、H30年度の民間への事業移行を達成する。 ○伝統工芸品である織物(八重山布、八重山ミンサー)そして、事業者が微増する窯業振興に寄与するよう、人材育成や原材料確保に継続して取り組む。 ○事業者リスク管理や地域版HACCP制度導入の必要性について認識してもらい、商業振興の基盤づくりに取り組む。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
28,252	28,252	22,601	5,651	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 特産品加工施設事業、新特産品開発事業では、「随意契約」を行ったが、従来より石垣市の経済と関わりの深い団体を委託先として選定しており、妥当であったと考える。 ○ 執行残もなく、予算額は適性であったと考える。 ○ 補助金執行については、補助金交付要綱に従い、適切に選定等を実施した。 ○ 事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		4 - 文化産業創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 1 - (5) - ウ		
担当部課名		企画部企画政策課		事業実施(予定)年度		文化コンテンツ産業の振興		
				平成25～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
						- 1 - (7)		
事業内容		人材やコンテンツを活かしたクリエイティブ産業の創出や認知度向上を図る為に、ワークショップの実施、国内外へ向けた情報発信強化、活動交流拠点となるコミュニティスペースの創出を行う。						
実施方法		■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	27年度(繰越)
		予算の状況	(a)当初予算額	15,000	-	25,840	13,000	-
			(b)予算現額	15,000	-	25,840	13,000	-
			(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	-
			(d)繰越額	-	6,346	-	-	2,970
			A. 計(b+d)	15,000	6,346	25,840	13,000	2,970
		B. 執行済額		8,654	5,106	19,796	9,855	2,970
		うち交付金充当額		6,923	4,085	15,837	7,883	2,376
		次年度繰越額		6,346	-	0	2,970	-
		執行率(%) (B/A)		57.7%	80.5%	76.6%	75.8%	100%
予算の状況の説明		クリエイターの活動交流拠点の場所選定において、拠点施設の活用に適した用地の選定や、人材育成プログラムにおける講師の日程調整においても不測の日数を要したため、事業の一部を繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H27活動目標(指標)		達成状況				
				27年度	28年度	29年度	30年度	
		クリエイターらのPR事業の実施(EXPO出展、イベント等を3回予定)	目 標	(イベント等の3回実施)	()	()	()	
			実 績	TOKYO DESIGN WEEK、渋谷ロフトイベント、ツンダミフェス他				
		クリエイター向けワークショップを実施し、コンテンツ造成を図る(5回予定)	目 標	(5回予定)	()	()	()	
			実 績	8回実施				
		活動拠点創出となる場を1ヵ所確保	目 標	(場所の確保)	()	()	()	
			実 績	1ヶ所確保				
達成状況説明	PR事業については、「地方創生シティ会議」(TOKYO DESIGN WEEK同時開催プログラム)にモデル事業として取り上げられただけでなく、TOKYO DESIGN WEEK会場内でも事業PRを展開することができた。クリエイターを対象とした育成プログラムについては、国内の著名なデザイナーやクリエイターらを招いて行っただけでなく、一般市民や学校の先生らも巻き込んでのワークショップを実施する事ができた。そして、活動拠点として石垣市内の民間ホテルと連携し、ギャラリースペースを設けただけでなく、委託形式での販売スペース、ホテル客室内での作品展示など、多岐にわたる活動を展開をおこなう事ができた。この拠点については、当該事業後についても継続的に実施をおこなっている。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
		PRによるクリエイターらへの業務受注 目標件数/10件	目 標	()	(10件)	()	()	()
			実 績		12			
		市民向け、観光客向けのコンテンツづくり 目標/1プログラムあたり参加者30名程度	目 標	()	(30名程度)	()	()	()
			実 績		200			
		進捗状況説明	制作受注件数については、展示アイテムやロフト店舗での特設販売コーナー展開等といった実際のプロダクトの制作から、PR事業にかかるブースのデザインやロゴデザイン、クリエイターらを複合的に活用したアイテム制作、民間企業の商品ラベルパッケージデザイン等もおこなうなど、様々な事例を作る事ができた。また、市民向け、観光客向けのコンテンツとして、石垣島まつりをはじめ、様々なイベント会場などにおいてクリエイターによるワークショップブースを設けることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○本事業は平成25年度より実施し、人材のアーカイブ化・PRを積極的に行っており、大規模なEXPOでは台湾からの招待や東京でのイベントに参加をした。大きなイベントでのPR以外に渋谷ヒカリエや代官山の店舗やアンテナショップ等で自主企画のPR事業を行っている。 ○PR事業ではクリエイターの作品を実際に展示するほか、世界、特にアジアのマーケットも視野に入れて3カ国語(日本語・英語・中国語)のPRパンフレットを制作し、配布をしている。 ○外部からの受注実績としては、県外の制作会社より沖縄キャンペーン事業のロゴやイラストなどのキービジュアル制作依頼や新石垣空港開港1周年記念文字・ロゴデザイン等、主にイベントでのロゴ作成やポスター・パンフレット作成の依頼が多くを占めていたが、徐々に島内企業からの発注も増えてきているだけでなく、PRコンテンツの企画及び制作業務についても実施している。 ○人材のアーカイブ化や切れ目なく次につなげていくための人材育成も一定程度成果があり、クリエイター自身の作品販売も含めて外部からの発注も増えている。	これまでに実施してきたクリエイター人材育成ワークショップを次のステップとして、これまで学んだノウハウを活かして、地域住民向けの講座を開き、クリエイターの知見を市民に共有していく事や、デザイン展やクリエイティブ関連のアワード等に出展し、受賞を目指すことで社会から評価され、更なるモチベーション向上へと繋げることができる。そういった実績の積み重ねにより、石垣市における文化産業の活性化をこれまで以上に盛り立てていける可能性がある。
今後の取り組み方針		
○取り組みを可視化するために、平成27年7月には一般社団法人「石垣島クリエイティブフラッグ(ICF)」として法人化を行った。これによりプロモーションからビジネスへと転換を行い、ポスター、カタログ制作などの外部からの受注を増やし、市としては適宜サポートを行う体制とする。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		12,825	12,825	10,259	2,566	0
石垣市 12,825千円	委託費 10,832千円	(株)ハレトケ 496千円	〔 石垣島Creative Flag in TOKYO DESIGN WEEK 会 〕			
		(一社)石垣島クリエイティブフラッグ 494千円	〔 TOKYO DESIGN WEEK に係るPRイベント企画費 〕			
		(合)パワナ 499千円	〔 '石垣島Creative Flag]PRコンテンツ制作委託業務 〕			
		セブンデザイン 97千円	〔 '石垣島Creative Flag]PR看板制作費 〕			
		(株)リトルコミュニティラボ 496千円	〔 石垣島Creative Flag 冊子増刷業務 〕			
		(一社)石垣島クリエイティブフラッグ 8,748千円	〔 クリエイター・アーカイブ企画委託業務 〕			
	使用料 216千円	テレコム・スクエア 6千円	〔 台湾出張に係るWi-Fiルーター使用料 〕			
		(株)ハレトケ 200千円	〔 TOKYO DESIGN WEEK 機材レンタル費 〕			
		(一社)石垣島クリエイティブフラッグ 10千円	〔 機器レンタル料 〕			
	事務費 1,777千円	〔 旅費 / 需用費 / 役務費 〕				
	資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明	
		○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業では、「随意契約」を行ったが、事業の性格と内容を鑑みると妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模であったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については検査、確認しており、適正であった。	
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
-		受益者との負担関係は妥当であるか。				
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	"石垣産の牛"生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産部 畜産課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
					- 1 - (6)		
事業内容	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、害虫の予防・駆除や空港・港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他石垣牛の宣伝や肥育牛の増頭支援などを実施する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)
		(a)当初予算額	20,265	37,380	-	64,678	-
		(b)予算現額	20,265	44,520	-	60,678	-
		(c)増減額(b-a)	0	7,140	-	▲ 4,000	-
		(d)繰越額	-	-	9,445	-	12,000
		A. 計(b+d)	20,265	44,520	9,445	60,678	12,000
		B. 執行済額	12,711	30,157	9,001	45,326	8,332
		うち交付金充当額	10,168	24,126	7,200	35,726	7,200
		次年度繰越額	0	9,445	-	12,000	-
		執行率(%) (B/A)	62.7%	67.7%	95.3%	74.7%	69.4%
	予算の状況の説明	減額は、牛舎整備の目標補助頭数引き下げに伴うものである。不用額については、市況の影響により、高齢繁殖母牛早期淘汰促進事業の補助頭数が少なかったことが主な理由である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	靴底消毒の実施	目 標	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	()	
		実 績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置		
	優良母牛の導入	目 標	(優良母牛の導入)	(優良母牛の導入)	(優良母牛の導入)	()	
		実 績	母牛導入実施	母牛導入実施	母牛導入実施		
	高齢母牛の淘汰	目 標	(高齢母牛の淘汰)	(高齢母牛の淘汰)	(高齢母牛の淘汰)	()	
		実 績	母牛淘汰実施	母牛淘汰実施	母牛淘汰実施		
	石垣牛広告を電光掲示	目 標	(電光掲示広告の実施)	(電光掲示広告の実施)	(電光掲示広告の実施)	()	
		実 績	電光掲示広告の実施	電光掲示広告の実施	電光掲示広告の実施		
	牛舎整備の補助	目 標		(牛舎整備の補助)	(牛舎整備の補助)	()	
		実 績		牛舎整備補助実施	牛舎整備補助実施		
	殺虫剤購入の補助	目 標			(殺虫剤塗布費用の補助)	()	
		実 績			殺虫剤塗布費用補助実施		
	達成状況説明	導入牛について、115頭を導入している。本事業ではH24～H33年度の10年間で合計500頭の導入を計画し、今年度までの進捗率は57%となっている。 淘汰牛について、経産牛家畜セリ生体価格の高騰が継続し、本事業での淘汰が目標頭数を下回っている。 肥育牛舎については、4戸80頭分の整備目標に対し、3戸67頭分の整備が完了した。 殺虫剤塗布については、5,000頭の目標に対し、5,572頭分に塗布した。					

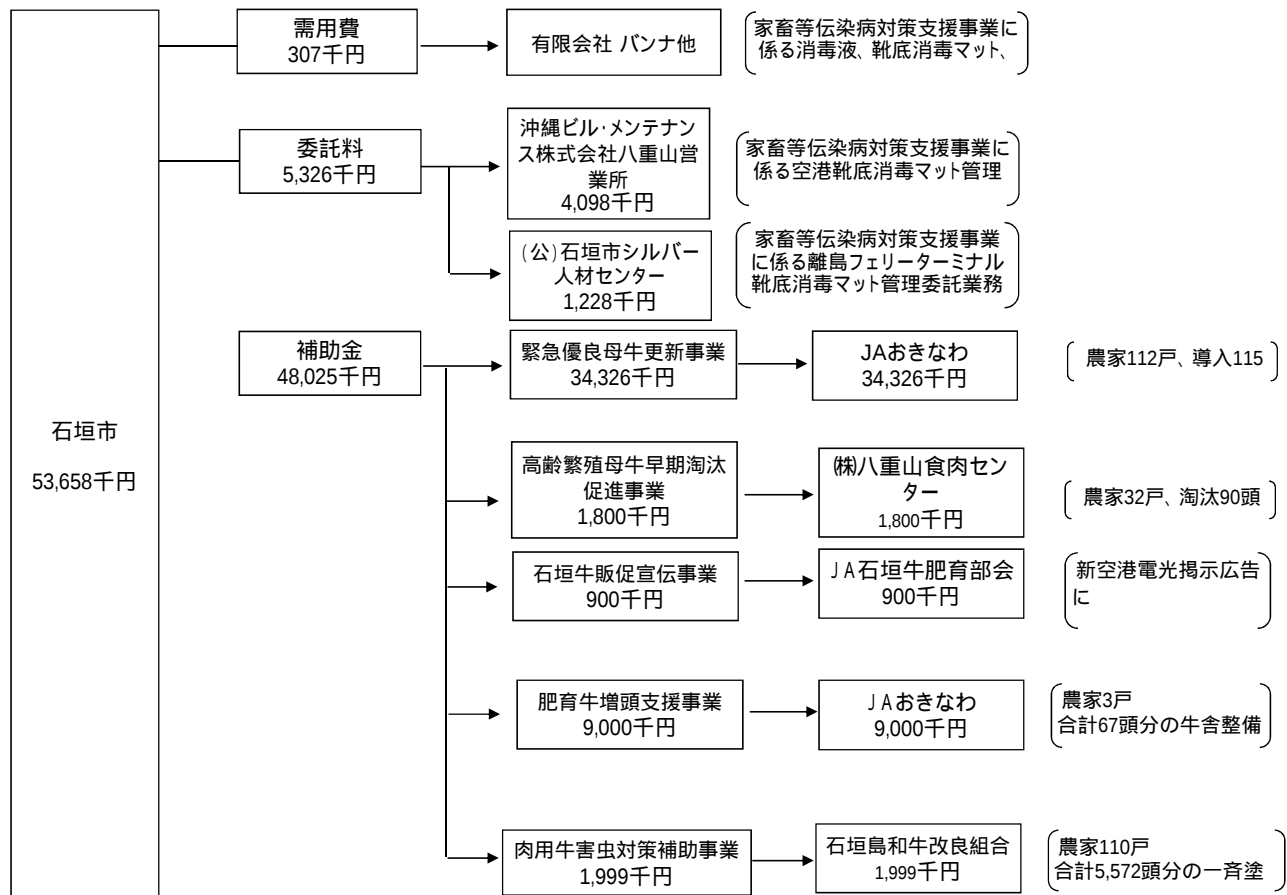
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	口蹄疫等の侵入リスク低減(発生がないこと)	目 標	()	()	()	(低減)	()
		実 績				低減できた	
	導入80頭	目 標	()	(40頭)	(80頭)	(80頭)	()
		実 績		39頭	75頭	115頭	
	淘汰200頭	目 標	()	(300頭)	(250頭)	(200頭)	()
		実 績		147頭	131頭	90頭	
	石垣牛ブランドの周知	目 標	()	()	()	(周知)	()
		実 績				周知できた	
	肥育牛の安定供給体制構築 (80頭分の肥育牛舎整備補助)	目 標	()	()	(30頭分整備)	(80頭分整備)	()
		実 績			48頭分整備	67頭分整備	
	伝染病等の家畜疾病感染リスクの低減 (5,000頭分の薬剤塗布購入補助)	目 標	()	()	()	(5,000頭)	()
		実 績				5,572頭	
	進 捗 状 況 説 明	空港等での靴底消毒実施により、家畜伝染病侵入リスク低減が図られた。 緊急優良母牛更新事業での優良母牛の導入及び 高齢繁殖母牛早期淘汰促進事業での高齢母牛淘汰により、地域内母牛群の改良が進んだが、市況の影響により淘汰については目標数の約半数となった。 空港到着ロビーでの広告掲示により、ブランドの周知が図られた。 肥育牛舎整備補助により、飼育スペースが確保され、約2年後における肥育牛の増頭が図られた。 白血病等の家畜疾病感染リスクの低減が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	家畜等伝染病対策支援事業 入域観光客が増加し、ウイルス侵入リスクが高まっている。 緊急優良母牛更新事業 生産農家の意識向上により、導入希望農家数が計画を大幅に上回っている。 高齢繁殖母牛早期淘汰促進事業 家畜セリ価格の高騰に伴い、本事業での母牛淘汰が少ない。 石垣牛販促宣伝事業 本事業の効果等により、肥育牛の消費が拡大している反面、品薄となっているため、新たな取組「肥育牛増頭支援事業」をH26において追加実施。 肥育牛増頭支援事業 牛舎整備に係る関係法令の許可に時間を要し、竣工が遅れる傾向にある。 肉用牛害虫対策補助事業 塗布を行わない農家が散見される。	今後も引き続き水際での靴底消毒を徹底し、リスク低減を図る。 農家要望に対応するためには、現在の導入先のみでは今以上の頭数を導入するのは難しいため、新規導入先を検討し導入可否を見極め、計画頭数を増頭していく。 家畜セリでの高齢母牛出荷増により、地域内高齢母牛の淘汰は進んでいると考えられる。事業を継続実施し、高齢母牛の淘汰を推進する。 継続してPRを行い、島内消費の促進及び希少価値の高いブランド力向上を図る。 肥育牛舎整備は平成27年度をもって完了とする。 農家への周知徹底を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
緊急優良母牛更新事業については、導入希望頭数が計画頭数を大幅に上回っており、各農家から計画頭数の増頭が求められている。しかし、現在の主な導入先である鹿児島県等の家畜セリ市場のみでは、希望頭数全てを導入するのは現実的に厳しい。そのため、次年度は新規導入先を開拓するなどして優良母牛の確保可否を見極め、計画増頭を検討する。 肉用牛害虫対策補助事業については、地域全体の飼養環境及び生産性向上のため継続する。 その他、肥育牛の安定供給が喫緊の課題となっているため、肥育牛に係る事業を引き続き実施し、その増頭を図るなど、石垣産の和牛生産基盤を一体的に推進する。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
53,658	53,658	42,926	10,732	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○靴底消毒マット管理委託業務について、随意契約となっているが、当該業務は巡回点検が必要であり、またセキュリティの観点から当該施設に常駐する清掃業者等への委託に限定されるため随意契約となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は適正な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担について、緊急優良母牛更新事業、肥育牛増頭支援事業とも1/2以上を農家が負担している。空港看板は維持管理費等を受益者が負担しており各事業妥当である。肉用牛害虫対策補助事業は1/3以上を農家が負担している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○その他費目、使途については、支出等に関する書類により確認。必要最低限であり適正。

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 - 石垣市立小中学校学習環境改善事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 5 - (3) - ウ		
担当部課名	教育部 学務課		事業実施(予定)年度	平成27～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 - 3 - (1)	
事業内容	石垣市立小中学校普通教室において、夏場の室内温度が文部科学省基準を上回り、過酷な環境であることから児童生徒の健康管理面、学力向上に向けた取り組推進のため改善を図る必要がある。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	46,440	-			
		(b)予算現額	90,120	-			
		(c)増減額(b-a)	43,680	-			
		(d)繰越額	-	78,655			
		A.計(b+d)	90,120	78,655			
	B.執行済額		11,465	77,967			
	うち交付金充当額		9,172	62,373			
	次年度繰越額		78,655	-			
	執行率(%) (B/A)		12.7%	99.1%			
予算の状況の説明		整備教室数を増やすため工事請負費を増額補正した。 不要額は入札執行残である。 関係者との協議の中で、工事実施の期間を見直したことにより、繰越が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	14校47教室の冷房機整備	目 標	(小学校30教室 中学校17教室)	()	()	()	
		実 績	小学校44教室 中学校26教室				
達成状況説明	当初予定していた整備教室数を増やし、小学校17校44教室、中学校9校26教室の合計26校70教室に冷房機の整備を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	14校47教室の冷房機整備	目 標	()	(小 30室 中 17室)	()	()	()
		実 績		小学校44教室 中学校26教室			
	快適な学習環境の整備	目 標	()	(環境整備)	()	()	()
		実 績		環境整備完了			
	進捗状況説明	当初予定していた整備教室数を増やし、小学校17校44教室、中学校9校26教室の合計26校70教室に冷房機の整備に取り組み、事業を完了した。 当初複数年での事業・取り組みを予定していたが、予算額の増額調整に伴い、次年度以降の整備計画を全て前倒しすることにより、冷房機の設置を計画していた教室において、快適な学習環境を整備することが出来た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 冷房機器の設置に伴い、今後、電気容量の不足が想定されるため、受変電設備の改修について検討を要する。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 教室内の温度管理や環境負荷の低減等について、適切に管理・運用するためにも全教職員・児童生徒の環境・省エネ等に対する意識を高める取り組みが必要。
	今後の取り組み方針 設備の維持管理や電気使用料金の安定確保を図るためには、適正な管理の確立を目指し、空調設備運用指針の通知等で学校職員や児童生徒への啓発を行う。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
89,432	89,432	71,545	17,887	0

```

graph LR
    A[石垣市  
89,432千円] --> B[委託料  
2,313千円]
    A --> C[工事請負費  
87,118千円]
    B --> D[新幾設備設計室  
1,393千円]
    B --> E[新幾設備設計室  
497千円]
    B --> F[新幾設備設計室  
422千円]
    C --> G[㈱砂盛工業  
21,232千円]
    C --> H[請盛電工  
7,432千円]
    C --> I[㈹和電工業  
17,277千円]
    C --> J[㈱三光電設  
17,760千円]
    C --> K[㈹つかさ産業  
23,415千円]
    
```

石垣市 89,432千円

- 委託料 2,313千円**
 - 新幾設備設計室 1,393千円 (学習環境改善事業設計委託)
 - 新幾設備設計室 497千円 (学習環境改善事業設計委託(空調)その2)
 - 新幾設備設計室 422千円 (学習環境改善事業設計委託)
- 工事請負費 87,118千円**
 - ㈱砂盛工業 21,232千円 (学習環境改善工事(1工区))
 - 請盛電工 7,432千円 (学習環境改善工事(2工区))
 - ㈹和電工業 17,277千円 (学習環境改善工事(3工区))
 - ㈱三光電設 17,760千円 (学習環境改善工事(4工区))
 - ㈹つかさ産業 23,415千円 (学習環境改善工事(5工区))

市町村名	石垣市						
平成 2 7 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 -	新石垣空港国際線旅客施設強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	建設部 空港課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、南ぬ島新石垣空港国際線旅客ターミナルを本格整備することによって、外国人観光客受入体制を整える。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,360	-			
		(b)予算現額	9,952	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 408	-			
		(d)繰越額	-	10,360			
	A. 計(b+d)		9,952	10,360			
	B. 執行済額		0	6,182			
	うち交付金充当額		0	4,945			
	次年度繰越額		10,360	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	59.7%			
予算の状況の説明		旅客ターミナルの増改築工事について、新たな海外エアラインが通年で新規就航することになったため、通年での海外観光客の受け入れ体制を整える必要が生じ工事計画、実施設計の見直しに日数を要したため執行残となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	ターミナルビル実施設計	目 標	(実施設計)	()	()	()	
		実 績	実施設計着手				
達成状況説明	実施設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	ターミナルビル実施設計完了	目 標	()	(完了)	(-)	(-)	(-)
		実 績		完了			
	進捗状況説明	実施設計が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	海外観光客の受け入れ体制を整備する必要があるが生じているが、新たに香港エクスプレスが通年就航したことから、受け入れ体制の見直しが必要となったため、事業の進捗に遅れが生じている。	今後さらに拡大が予想される海外観光客の通年受け入れを可能にするため、国際線旅客ターミナル施設に十分な余裕を持たせて整備する必要がある。 事業主体である石垣空港ターミナル社と緊密に連絡を取り合い、事業の進捗状況を管理していく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、事業主体である石垣空港ターミナル社と建築業者との調整を加速し、平成29年度に開始する建築工事に伴う国際線旅客施設利用客への影響を考慮しつつ随時事業進捗確認を行うことで、平成30年度末の工事終了に向けて事業管理を徹底する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,182</td><td>6,182</td><td>4,945</td><td>1,237</td><td></td></tr> </table> 石垣市 6,182千円 補助金 6,182千円 石垣空港ターミナル(株) 6,182千円 新石垣空港国際線旅客施設強化事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,182	6,182	4,945	1,237	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,182	6,182	4,945	1,237											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体である石垣空港ターミナル(株)に施設建設費を補助しており、支出先は適切であると考える。 ○実施設計の見直しに時間を要したため執行残が発生してしまった。 ○石垣空港ターミナル社は運営費の一部と空港店舗部分について費用負担をしており、負担関係は妥当である。 ○交付金の使途は空港の国際線部分かつ旅客が直接的に使用する部分に限られており、妥当である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												